



応募名称

多様な食品廃棄物のエコフィード化と リサイクルループの構築

会社名、事業場名

株式会社日本フードエコロジーセンター
神奈川県相模原市 / www.japan-fec.co.jp

■ 具体的な取組内容 ■

本取組は、多様な食品廃棄物を分別・破碎・殺菌・発酵処理を経て、リキッド発酵飼料を製造し、養豚農家に提供すると共に、そこで生産された豚肉を排出元である食品関連事業者で販売するという流れを作ることで、食品のループリサイクルを構築するものです。これにより、CO₂の削減や年間2000万t超のゴミ処理問題の解決に寄与すると同時に飼料費の高騰、安全・安心な畜産物のニーズといった多様な問題にも対応しながら、食品廃棄物を排出する事業者のCSRの取組へとつなげることで、食品リサイクル事業を通じた循環型社会の形成に貢献しています。

<リキッド発酵飼料について>

リキッド発酵飼料は、水分の多い食品廃棄物を乾燥させず、乳酸発酵によって保存性を高め利用するものです。また牛乳、ヨーグルト、シロップ等の液体状廃棄物も活用できます。

また一般配合飼料と比較して、半額程度の価格での提供が可能、さらにエネルギーコストの削減でCO₂の排出量を約4分の1に抑えられます。

<ループリサイクル（循環型社会）の形成>

収集運搬業者と提携して180か所以上の事業所から約30t/日の食品循環資源を受け入れ、40t/日のリキッド発酵飼料を製造して、関東近郊の15戸を超える契約養豚農家に提供しています。

さらに養豚農家と協力して付加価値のある豚肉を生産し、食品廃棄物を排出した事業者でブランド肉として販売するというシステムを作り上げることや学校給食、農業高校との連携等を通じて食育活動にも貢献しています。



■ 評価 ■

2005年から先進的にリキッド飼料化に取り組み、生産した豚のブランド化や、排出事業所であるスーパーや百貨店等で販売していくリサイクルループを確立。9年間継続的に事業を継続している点も評価された。